

28歳 OR 42歳

で産んだら 子育てで未来年表

いくつで産んでも気になる、これからのお金のこと、自分の体力、子どもの将来。左の表を参考に、夫やパートナーと、自分たちに合った未来年表を話し合ってくださいね。まだ自分一人の時間を持ちたいというあなたは、自分の夢や目標に合わせて、妊娠・出産時期の目安を立ててみては？ 今するべきことが見えてくるはずですよ。

28歳で出産

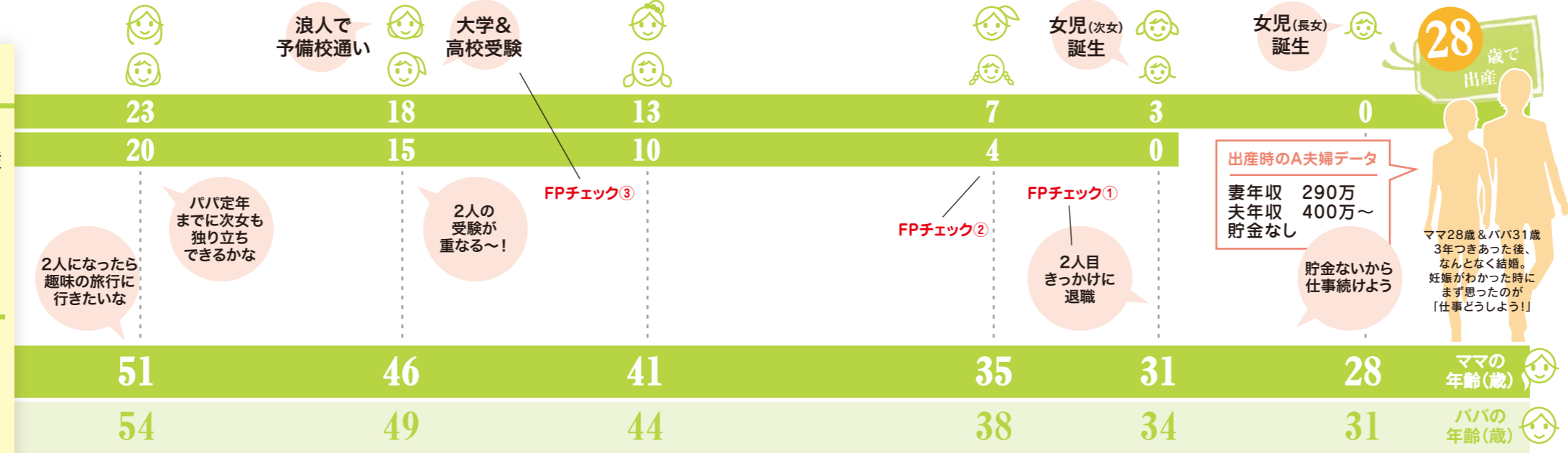
ママ28歳&パパ31歳
3年つきあった後、なんとなく結婚。妊娠がわかった時にまず思ったのが「仕事どうしよう！」

42歳で出産

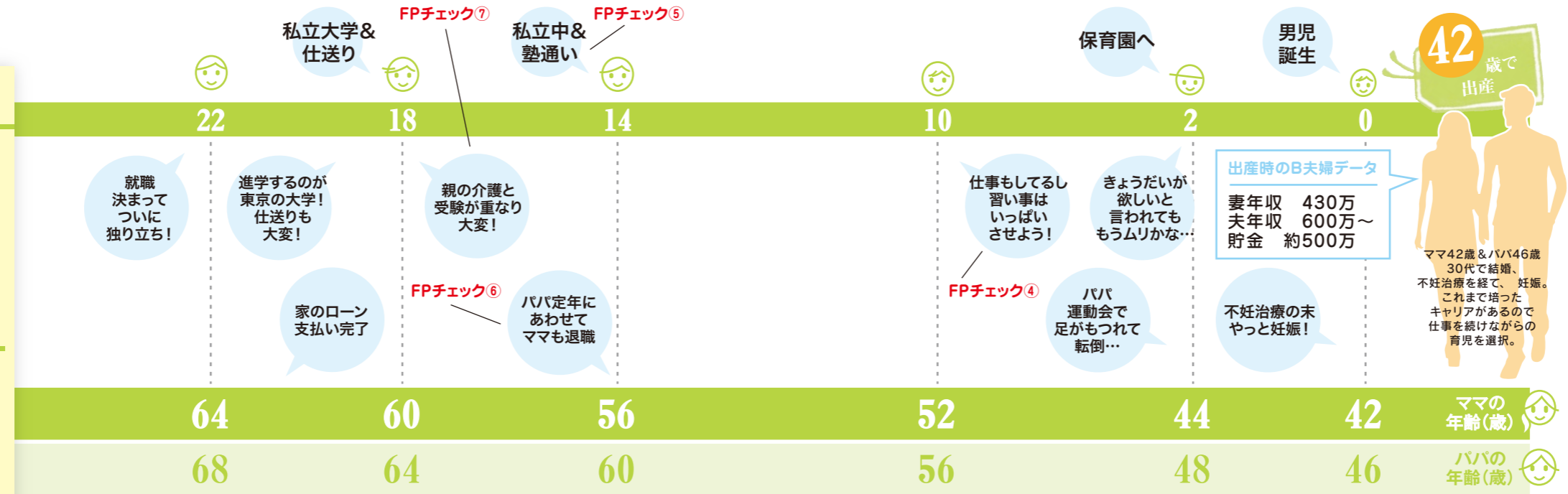
ママ42歳&パパ46歳
30代で結婚、不妊治療を経て、妊娠。これまで培ったキャリアがあるので仕事を続けながらの育児を選択。

出産時のA夫婦データ
妻年収 290万
夫年収 400万～
貯金なし

出産時のB夫婦データ
妻年収 430万
夫年収 600万～
貯金 約500万



②妻の月収がたとえ7万としても、20年間で1680万円稼げば、住宅購入・教育費・老後の資金も確保できる。勤めるのは、中学入学くらいからでもいいが社会復帰が遅れる分、家計も、妻自身もつらいかも。そのために、早めに働きに出ることをおススメ。
③子どもの私立進学のために働くというよりも、早いうちから教育資金の準備は必要。どれだけ貯められるかは、子どもの中学校入学までが勝負！



④収入が多いため家計管理が出来てない家庭も。入った分だけ使ってしまう、高所得低貯蓄家庭にならないように、収入の2～3割は貯蓄へ。
⑤教育資金は子ども1人ならオール私立でもOK。

- メリット**
- 妊娠適齢期のため、比較的スムーズな妊娠・出産
 - 産後に体力がある
 - 若いうちに子育て終了
- デメリット**
- 自身がまだ成長期
 - 経済力に不安がある
 - 計画的ではないので予想外のことが起こると慌てる

- メリット**
- 仕事が安定している
 - 経済力が安定している
 - 精神的に余裕を持って子育てができる
- デメリット**
- 体力的な不安
 - 親の介護と子育てが重なる
 - 妊娠しづらく不妊治療が必要なことも

HOW MUCH?

出産・入院費用
正常分娩の場合
約 40～50万円

健診にかかる費用
1回につき
約 4千～1万5千円

教育費
幼稚園～大学
ずっと公立の場合
約 1057.3万円
幼稚園～大学
ずっと私立の場合
約 2458.1万円

不妊治療費
※Bさんのケース
約 140万円

マイホーム購入費
一戸建ての場合(福岡県の平均価格)
約 3298万円
マンションの場合(福岡県の平均価格)
約 2950万円

この一戸建ての費用は、土地の価格も含まれたものとなっています。両親から土地を譲り受けた場合、今後の消費税の増加を受け、大きく予算が変わることも想定しましょう。

資料:日本政策投資銀行「教育費の負担と家計の健康度」平成23年版
※公立小学校の授業料は、平成23年度、1人あたり約10万円です。



監修:FP office ゆめたまご
ファイナンシャルプランナー 中村賢司さん
在宅FP